

府中市教育委員会

教育長 荻野 雅裕 様

府中市教科用図書採択地区

選定委員会会長 花田 三恵

令和6年度小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書に係る

府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について（答申）

府中市教育委員会から諮問されましたこのことについて、別紙のとおり答申します。

令和6年度小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書に係る
府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について（答申）

令和5年8月18日

府中市教科用図書採択地区選定委員会

目 次

はじめに	2
小学校		
国 語	7
書 写	9
社 会	11
地 図	13
算 数	15
理 科	18
生 活	21
音 楽	23
図 工	25
家 庭	27
保 健	29
英 語	32
道 徳	35

はじめに

府中市教科用図書採択地区選定委員会は、令和5年6月8日府中市教育委員会から「令和6年度小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書に係る府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について」の諮問を受けて以来、4回の審議を行った。

また選定委員会は、広島県教育委員会の指導のもと、下記に示す「令和6年度小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の調査研究の観点」による調査・研究を依頼し、その報告をもとに府中市の児童の実態に即した教科用図書を選定するべく審議を重ねた。

学校教育は、学習指導要領に則り行われるものであるが、小学校学習指導要領においては、①知識及び技能が習得されるようにすること。②思考力、判断力、表現力等を育成すること。③学びに向かう力、人間性等を涵養すること。以上の基本方針を示している。

本答申は、文部科学省検定済教科書の中から府中市の21世紀を担う児童が学ぶにふさわしい教科用図書の選定審議をしたものである。答申の趣旨をとらえていただき、府中市教育が一層充実するよう、確かな学力と豊かな心を育む教科用図書の採択をお願いしたい。

教科用図書調査研究の観点

国 語			
観点		視点	
第1	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方
		②	言葉の特徴や使い方に関する事項
		③	情報の扱い方に関する事項
第2	主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
		②	課題解決的な学習を実施するための工夫
		③	見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
第3	内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列
		②	伝統と文化に関する内容の記述
第4	内容の表現・表記	①	巻頭の示し方
		②	本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用
第5	言語活動の充実	①	考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫
		②	学校図書館機能の利活用

書 写			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方
		②	姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	課題解決的な学習を実施するための工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	単元等の配列・分量
		②	伝統と文化に関する内容の記述
第 4	内容の表現・表記	①	配色、レイアウト等表現・表記の工夫
第 5	言語活動の充実	①	学習や日常生活に生かす言語活動の工夫

社 会			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	目標の示し方
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
		②	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列、分量
		②	現代的な諸課題の扱い
第 4	内容の表現・表記	①	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
		②	本文以外の記述の工夫
		③	資料読取りのための工夫
第 5	言語活動の充実	①	調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
		②	観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫

地 図			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	地図帳に関する説明の仕方の工夫
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
		②	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列
第 4	内容の表現・表記	①	資料読取りのための工夫
第 5	言語活動の充実	①	観察・調査や各種資料の活用の工夫
		②	調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫

算 数			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	単元の目標を達成するための工夫
		②	基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
		②	問題解決的な学習を実施するための工夫
		③	具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列
		②	中学校の学習内容と関連する内容
第 4	内容の表現・表記	①	イラスト・写真・吹き出し等の活用
第 5	言語活動の充実	①	数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫
		②	思考を深めるための記述の工夫

理 科			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	単元の目標とまとめの示し方
		②	知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
		③	観察・実験の技能を習得させるための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
		②	問題解決の力を育成するための工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列
		②	社会の変化に伴う課題への対応
第 4	内容の表現・表記	①	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫
第 5	言語活動の充実	①	観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫
		②	科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫

生 活			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫
		②	自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫
		③	自分自身や自分の生活について考えるための工夫
		④	生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
		②	振り返り表現する活動の工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列及び分量
第 4	内容の表現・表記	①	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
第 5	言語活動の充実	①	コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定

音 楽		
観点		視点
第 1	基礎・基本の定着	① 題材や学習目標等の示し方
		② 歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
		③ 器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	① 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
		② 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	① 我が国の音楽に関する内容の扱い
		② 題材や資料等の配列
第 4	内容の表現・表記	① 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
第 5	言語活動の充実	① 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫

図画工作		
観点		視点
第 1	基礎・基本の定着	① 題材の目標・振り返りの示し方
		② 〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
		③ 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	① 興味・関心を高めるための工夫
		② 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫
		③ 身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い
第 3	内容の構成・配列・分量	① 題材や資料等の配列
第 4	内容の表現・表記	① 作品等についての示し方の工夫
第 5	言語活動の充実	① 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫

家 庭		
観点		視点
第 1	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方
		② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	① 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫
		② 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
		③ 実生活での活用に関する記述
第 3	内容の構成・配列・分量	① 題材名や資料等の配列
		② 各教科等と関連させて学習を進める工夫
第 4	内容の表現・表記	① 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
		② 個々の児童の状態等に応じた工夫
第 5	言語活動の充実	① 言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

保 健			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方
		②	体育・健康に関する内容の記述
		③	実習に関する記述
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
		②	健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列
		②	発展的な学習に関する内容の記述
第 4	内容の表現・表記	①	本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用
第 5	言語活動の充実	①	身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫

英 語			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方
		②	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
		②	単元等における振り返りの工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	単元の構成・配列の工夫
		②	単元における言語活動の構成・配列
第 4	内容の表現・表記	①	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用
		②	巻末資料、付録等の工夫
第 5	言語活動の充実	①	児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫
		②	知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫

道 徳			
観点		視点	
第 1	基礎・基本の定着	①	道徳科の学び方等の示し方
		②	発問の示し方
第 2	主体的に学習に取り組む工夫	①	問題解決的な学習を取り入れた工夫
		②	体験的な学習を取り入れた工夫
第 3	内容の構成・配列・分量	①	分量や教材の数
		②	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
第 4	内容の表現・表記	①	巻頭、巻末等の取扱いの工夫
		②	教材の内容を理解させる工夫
第 5	言語活動の充実	①	考えを伝え合う活動の工夫
		②	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	国語

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 単元の目標の示し方
 - 言葉の特徴や使い方に関する事項
 - 情報の扱い方に関する事項
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 課題解決的な学習を実施するための工夫
 - 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列
 - 伝統と文化に関する内容の記述
- ・内容の表現・表記
 - 巻頭の示し方
 - 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用
- ・言語活動の充実
 - 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫
 - 学校図書館機能の活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○情報の扱い方を、関連する単元の前後に「情報のとびら」として配置し、「読むこと（説明文）」での学びが「書くこと」の学習に結び付けられるように整理されている。	◎現代社会が抱える問題を取り扱った教材や、キャリア教育の視点から言葉を使って未来を切り拓いていく意義について、各界の著名人のメッセージが掲載されている。	◎第2学年以上は、「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」を配置し、両単元を関連させる学習が設定されている。
17	教育出版	○情報の扱い方を「情報のまとめ」として巻末にまとめて示し、その巻に掲載の関連する単元やページを表記することで、使用場面を行き来したり、複数の教材で何度も活用したりできるように整理されている。	◎個人の考えや思いを発表する活動は全学年で、話し合う活動は第3学年以上で系統的に展開されている。	◎学習の進め方とともに、思考ツールの活用やデジタルノートが示されている。

		<p>○3領域を教材名、単元名、身に付けたい力で整理し、SDG s との関連が明記されている。</p> <p>◎低学年段階から話し合い活動が展開されている。</p>
38	光村図書	<p>○情報の扱い方について、関連する単元の前後に「情報」として配置し、各領域の学習活動を関連させることができるように整理されている。</p> <p>○中学年までは、児童が日常生活の中で直面しやすい問題場面・問題状況を教材として取り上げているが、高学年では、多様性や環境など実社会と結び付いた教材が設定されている。</p> <p>○第1学年以外「季節の言葉」として、季節の歌や詩、行事について掲載されている。第6学年では、古典に関する教材が数回に分けて掲載されている。</p> <p>○文章だけでは分かりにくい事柄について、写真やグラフ等で説明されている。</p> <p>◎低学年段階から役割を意識したグループ討議が展開されている。二次元コードでモデルとなる話し合い方を動画で視聴することができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●巻頭に学習することが明記されていて分かりやすい。 ●学習の見通しや流れが、見開き2ページで分かりやすく丁寧に示されている。 ●これまでの学習内容が紙面に示されており、系統性が分かりやすい。 ●「問いをもとう」で、児童に問いかける言葉で単元を通した問いが投げかけられており、主体的な学びにつなげることができる。

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	書 写

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 単元の目標の示し方
 - 姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 課題解決的な学習を実施するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元等の配列・分量
 - 伝統と文化に関する内容の記述
- ・内容の表現・表記
 - 配色、レイアウト等表現・表記の工夫
- ・言語活動の充実
 - 学習や日常生活に生かす言語活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○目標が「見つけよう」として示されており、その目標を達成させるために、おさえるべき事項が掲載されている。	◎「見つけよう」では、教材を比較し、気付いたことを生かして書く構成になっている。	○書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるよう、学年の発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元が配列されている。
17	教育出版	○目標が「めあて」として色付きの太字で示されている。	◎書写で習得した力を教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるように「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」の単元で示されている。	○「振り返ろう」が掲載されており、問いかけによって自己評価ができるようになっている。

38	光村図書	<p>○目標に「どんな関係があるのだろうか」「理由を合わせて考えよう」など、筆順や字形について考えさせる目標が示されている。</p> <p>○学習の進め方「考えよう」では、話し合いの視点が示されており、対話的な学びを通して学習を深められるような構成になっている。</p> <p>○1教材1目標で示されており、学習を通して身に付ける力が教材名として示されている。</p> <p>○「たいせつ」が掲載されており、児童が言語と図版によってポイントを理解できるよう配慮されている。</p> <p>◎学習活動に必然性をもたせるために、国語科教科書と連動した教材を設定し、国語と一体的に扱えるようになっている。また、第6学年の教科書には、「書写ブック」が付いており、第1～6学年までに学習したことを日常生活に広げられることが示されている。</p> <p>●英語の内容や新聞記事の書き方が示されており、他教科との関連が図られている。</p> <p>●各学年で学習したことが書写ブックとして別冊風にまとめてあり、日常生活に生かすことができる。</p> <p>●目を引く「たいせつ」マークによって学習のポイントが明記されており、視覚的にも大事なことを確認しやすい。</p>
----	------	---

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	社会

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 目標の示し方
 - 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列、分量
 - 現代的な諸課題の扱い
- ・内容の表現・表記
 - 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
 - 本文以外の記述の工夫
 - 資料読取りのための工夫
- ・言語活動の充実
 - 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
 - 観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○「つかむ」「調べる」「まとめる」の視点で、学習過程が1単位時間ごと示されている。	◎1単位時間ごとに「まなびのポイント」が示され、考える視点が明確になっている。	○選択教材の数が絞られており、視点を明確にした学習を進めることができるようになっている。
		○QRコンテンツでは、見通しをもって学習が進められるようになっており、実感を伴った理解を促すようになっている。	○学習内容を観点ごとに新聞等にまとめさせる活動が設定されている。	●「学びのポイント」として、学習の進め方のヒントが記載されている。
		○学習内容を観点ごとに新聞等にまとめさせる活動が設定されている。	●「学びのポイント」として、学習の進め方のヒントが記載されている。	●キャラクターのイラストとともに、児童に思考を促すような問いかけがある。
17	教育出版	○1単位時間ごとに、「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習過程のうち、本時はどの過程であるかが示されている。	○1単位時間ごとに「活動」の流れや「学びの手引き」が示され、児童に学習の見通しをもたせることができるようになっている。	◎選択教材を多く設け、児童及び地域の実態に応じた学習を行うことができるようになっている。
		○「次につなげよう」コーナーでは、既習事項を次の課題につなげて考えさせる問いの文が用いられている。	○学習内容を観点ごとに図等を使って整理できるようになっている。	

		<ul style="list-style-type: none"> ● 選択教材が多く掲載されている。 ● 「つかむ」「調べる」「まとめる」等、毎時間の活動内容が具体的に示されている。 ● 巻頭に社会科の学習の進め方が示されている。
116	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1 単位時間ごとに、本時の問いが記載されている。 ○ 単元内に「見方・考え方」が示されており、単元内で身に付けさせたい力が明確にされている。 ○ 選択教材を設け、児童の興味・関心に即した学習を行うことができるようになっている。 ◎ QR コンテンツでは、社会的な見方・考え方を働かせながら、見通しをもって学習が進められようになっており、実感を伴った理解を促すようになっている。 ○ 学習内容を観点ごとに表に整理できるようになっている。 ● 巻頭に社会科の学習の進め方が示されている。 ● 身に付けさせたい力が明確に示されている。 ● 資料が比較しやすく、追究して学べる構成となっている。 ● 「！」や「？」マークの記載があり、児童に思考を促すような問いかけが視覚的に分かりやすい。

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	社会（地図）

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 地図帳に関する説明の仕方の工夫
 - 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列
- ・内容の表現・表記
 - 資料読取りのための工夫
- ・言語活動の充実
 - 観察・調査や各種資料の活用の工夫
 - 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○地図帳の使い方では、学習の案内役のキャラクターを活用し学んでいくという方法がとられている。 ○巻頭ページの世界地図と日本地図を示す際に、国ごとや都道府県ごとの特産物・動物・文化等を記載し、児童の興味・関心を高めることができるようになっている。 ○世界の統計資料を紹介する項目では、統計表に加えて「オリンピックとワールドカップ」と「世界の州とおもな海洋の広さ」について記載されている。	◎日本全図では、巻頭や巻末、それぞれの掲載ページにおいて、都道府県及び地域別に、有名なもの、日本とそのまわり、地形、気候、産業、交通、都市、歴史、文化、自然災害が項目ごとに示されている。ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインされている。	○「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」というコーナーが設けられており、学習内容を表現する活動につながる問いが示されている。 ●巻末資料の提示の仕方が分かりやすい。 ●自然災害についての内容が充実している。
46	帝国書院	◎地図帳の使い方を問題解決的に掲載し、地図の見方では色分けをして示されている。 ○巻頭ページの世界地図と日本地図を示す際に、世界地図では「その国の有名なもの」「日本が多く輸入するもの」、日本地図では「それぞれの都道府県の有名なもの」が記載され、児童の学習意欲を高めることができるようになっている。 ○世界の統計資料を紹介する項目では、統計表に加えて「日本の農水産物・資源の輸入先」について記載されている。		

	<p>○日本全図では、巻頭や巻末、それぞれの掲載ページにおいて、都道府県及び地方区分、有名なもの、日本の領土とそのまわり、地形、気温、自然災害、土地利用、産業、歴史、日本の世界遺産が項目ごとに示されている。ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、児童の色覚特性に配慮した色づかいとなっている。土地の高さを立体的に捉えることができるようになっている。</p> <p>○地図と歴史を関連付けて調べることができるようになっている。地理的な視点で歴史を捉えることができ、特に明治元年と現在の土地利用の様子を比較して見ることができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童に分かりやすい絵が記載されている。 ●地図帳の使い方の説明が丁寧にされている。 ●色分けにより、土地の高低が分かりやすい。 ●どのページでも、市街地、田、果樹園が地図上で色分けして示され、色分けの仕方についての説明も記載されている。
--	---

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	算数

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 単元の目標を達成するための工夫
 - 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 問題解決的な学習を実施するための工夫
 - 具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列
 - 中学校の学習内容と関連する内容
- ・内容の表現・表記
 - イラスト・写真・吹き出し等の活用
- ・言語活動の充実
 - 数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫
 - 思考を深めるための記述の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>○単元初めに、児童同士の対話によって目標を設定するようになっている。また、学習の最後に、次の学習につながる疑問が示されており、今後の学習の見通しがもてるようになっている。</p> <p>◎「今日のふかい学び」としてマイノートを学習に生かそうとまとめてあり、問題を解決していく自分の思考を振り返ることができるようになっている。また、その考えの視点も示されている。</p> <p>○第2学年以上の巻末に単元末と類似する補充の問題を設定し、基本的な内容と少し発展的な内容の難易度別の構成になっている。単元のまとめとして、練習問題、補充問題、追加問題（デジタル版）が設定されている。</p> <p>○実物の写真を使用し、実生活との関連が意識しやすくなっている。</p> <p>○「今日の深い学び」を設定し、学習過程とともに側注として「数学的な見方・考え方」など話し合い活動を進めるためのヒントが書かれている。それをもとに説明の活動が展開できるようになっている。</p> <p>●1年生では、書き込んで学習することができる「スタートブック」が用意されている。</p> <p>●見方・考え方を働かせたり、既習の学びを生かして取り組んだりする問題が用意されている。</p>
4	大日本図書	<p>○児童にとって身近に感じる日常場面を取り上げて疑問を引き出し、めあてを設定するようになっている。学習の最後に振り返りの視点の記述があり、児童への支援となっている。</p> <p>○「見方・考え方をたしかめよう」の中で、学習したことを元に、新しい学習を進めていくことができるようになっている。大切な見方・考え方を振り返ることにより、</p>

		<p>自分で考え進めていくようになっている。</p> <p>◎第6学年のまとめの問題では、中学校と関わる内容については「中学への準備」と明記されている。また、「数学の世界へ」の中で中学校と関連のある内容の問題が取り扱われている。さらに「中学校の数学ではこんなことを学ぶよ」も掲載されている。</p> <p>○イラストや写真は、問題の意味を理解させるために身近なものが扱われている。また、具体物から抽象へと表現方法が段階的に提示されている。</p> <p>○「算数の学び方」を設定し、学習の流れが示されている。考え方の図が示されている。また教科書の巻頭に「となりどうしで」「グループで」「クラスで」と場面に応じた話し合いの方法が示されている。</p> <p>●単元への導入ページがあり、児童の興味・関心を高めると同時に、問題解決的な学習を進めるための工夫がされている。</p> <p>●1年生では、書き込んで学習することができる大きいサイズの「スタートブック」が用意されており、半具体物を操作しながら学びやすい。</p> <p>●見方・考え方を働かせたり、既習の学びを生かして取り組んだりする問題が用意されている。</p> <p>●それぞれの単元に「プラス・ワン」として発展問題が用意されているため、主体的で、個別最適な学びにつながる。</p> <p>●中学校の学びをイメージしやすい。また、小学校で学んだことが、どのように中学校での学びにつながっているのかが分かりやすく示されている。</p>
11	学校図書	<p>○練習問題も単元末問題も充実している。単元末には、基礎問題、発展問題が設定されている。振り返りのページでは、その単元で大切な「見方・考え方」を改めて提示し、児童が問題解決できるように設定されている。</p> <p>◎「考え方モンスターでふりかえろう」では、既習の図形に変形させることで、いろいろな図形の面積を求めていくことができるようにしている。</p> <p>○巻末は、基本的な内容の定着が図れるような補充問題と発展的な問題で構成されている。理解が困難な内容については単元を分割し、さらに指導学期を分けて定着が図れるようになっている。</p> <p>○単元の導入は、日常生活と関連する場面が設定されているとともに、イメージしやすいようなイラストが表示されている。また、1単位時間の学習のまとめが分かりやすく示されている。</p> <p>○「みんなと学ぼう 算数の学び方」という巻頭ページで「考えたいな」「表したいな」「知りたいな」「調べたいな」という学習の流れが示されており、それに沿って設問がある。</p> <p>●単元末の練習問題が充実している。</p> <p>●中学校の学習と関連した内容が別冊に収録されている。</p> <p>●学習の進め方が丁寧に記載されている。</p> <p>●見方・考え方を働かせたり、既習の学びを生かして取り組んだりする問題が用意されている。</p>
17	教育出版	<p>○日常生活の場面を取り上げ、めあてが設定されている。学習の終末には、次の学習につながる疑問が示されており、今後の学習の見通しがもてるようになっている。</p> <p>○「学習の手引」の中では、「友だちのノートを見てみよう」（友だちのノートの書き方のいいところを見つけよう）として、視点を明確にして自ら考え進めていくことができるようになっている。</p> <p>◎他教科や学校の活動と関連した題材を扱い、必要感を感じられるようになっている。複数単元・領域のまとめりにごにレディネス問題や復習問題が設定されている。</p> <p>○作業的・体験的な活動の場面では、写真を用いて活動内容を想像しやすくしている。</p>

		<p>○「友だちのノートを見てみよう」では、ノートの書き方のポイントが例示されている。友達の考えからの気付きの記入例が示されている。</p> <p>●単元の導入に、日常的な場面が示されており、問題を捉えやすい。</p>
61	啓林館	<p>○単元末に「れんしゅう」「学びのまとめ」「ふくしゅう」が設定されており、易しい問題から難しい問題に挑戦できるようになっている。単元末の問題では、タブレットが使用できるようになっている。巻末の学びのサポートで単元前の準備問題が設定されている。</p> <p>○「台形の面積」の求め方について、3通りの異なる解決方法を「分ける・2つに合わせる・変形」の言葉で整理し、考えの道筋が分かりやすくなるように示されている。</p> <p>◎新しい演算を学習した後に、適切な演算を決定し根拠を説明する活用単元が設定されている。巻中に学期末に取り組む復習問題、巻末に単元前に行う準備問題と復習問題が用意されている。</p> <p>○操作活動では、写真が用いられているので活動内容を想像しやすく、学習意欲を高めることができるようになっている。デジタルコンテンツでは、アニメーションに加え、誤答の多い問題も扱われている。</p> <p>○「学習の進め方」を設定し、それに沿った設問がある。また、巻頭に「みんなで話し合おう」「算数で使いたい考えの進め方」が示されている。</p> <p>●巻末に、下学年の学習内容を振り返ることができる問題が用意されている。</p> <p>●1年生では、書き込んで学習することができる「スタートブック」が用意されている。</p> <p>●見方・考え方を働かせたり、既習の学びを生かして取り組んだりする問題が用意されている。</p>
116	日本文教出版	<p>○単元末には、基礎的な問題とその単元の見方・考え方を使って解決する問題が用意されている。単元前には、その単元に関わる既習事項を扱うページが設定されており、スムーズに導入できるようになっている。</p> <p>○「自分で みんなで」では、「見方・考え方」で、課題解決の流れを示したり、「学び合おう」で、学び合いの視点を示したりすることにより、どのような工夫をしているのかを説明できるようになっている。</p> <p>○第6学年のまとめの後の「マテマランドを探検しよう！」の中で中学校の学習内容との関連が触れられている。中学校と関連する内容を扱うときは、「中学校へつながる学習」というマークが付いている。</p> <p>○実物の写真を使用しているため、学びと日常生活を関連させやすくなっている。また、1単位時間の学習のまとめが分かりやすく示されている。</p> <p>◎「学び方ガイド」を設定し、説明し合うための学習過程が示されている。折り込みページに、考え方の視点が示されており、それを使って説明する活動が展開できるようになっている。</p> <p>●「見方・考え方」がたくさん示されており、児童の思考の手助けになる。</p> <p>●次の単元の学習のフォローアップとなる問題が用意されている。</p> <p>●巻末に、生活と関連する問題が用意されている。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	理科

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 単元の目標とまとめの示し方
 - 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
 - 観察・実験の技能を習得させるための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 問題解決の力を育成するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列
 - 社会の変化に伴う課題への対応
- ・内容の表現・表記
 - 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫
- ・言語活動の充実
 - 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫
 - 科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<p>○問題を把握するための活動が呼びかけの形で提示されている。児童が対話しているイラスト等を用いて、学習のめあてや視点が示されている。学習内容の定着を図る「たしかめよう」が設けられている。</p> <p>○導入部分において単元の学習内容や学習課題を想起しやすくするための活動が取り入れられている。</p> <p>○単元外の内容を取り上げた「理科の世界 探検部」のコーナーで現代的な課題に関わる内容及び発展的な内容が扱われている。また、巻末の「理科とプログラミング」のページでプログラミング学習の内容が扱われている。</p> <p>◎写真のサイズが大きく、変化や特徴等を細かく観察できるように工夫されている。また、ICTを活用した学習活動を選択できるように、QRコンテンツが提示されている。</p> <p>○児童の対話を例示している箇所がある。巻末に発表や話し合いの際の留意点が示されている。結果をどのように表現するのか例示されている。単元ごとに分かったことが示してあり、児童がまとめる際のヒントとなっている。また、その中に自分の言葉で説明する部分がある。</p> <p>●写真が鮮明で分かりやすい。</p> <p>●ICTを活用した学習活動を選択できるように、QRコンテンツの内容が多岐にわたっている。</p>		
4	大日本図書	<p>○準備物の記載はないが2次元コードで示されている。番号や図などで手順が示されている。安全に配慮が必要なところに赤字で「注意」の記述があり、巻末に器具の使い方などが記されている。</p> <p>◎学習につながる知識・経験が、単元の初めの活動によって、全児童に提供される学</p>		

		<p>習の流れになっている。</p> <p>○単元外の内容を取り上げた「りかのたまたまばこ」のコーナーで、現代的な課題に関わる内容及び発展的な内容が扱われている。</p> <p>○文字のサイズを大きくしたり、要点を強調したりして、読みやすくなるように工夫がされている。また、また、プログラミング学習と防災学習を関連付けた内容が扱われている。</p> <p>○考察の視点が書かれている。関連付けられた結論・比較に基づく特徴・既習の内容との比較を用いた記述がされている。</p> <p>●写真が鮮明で、文字も大きく分かりやすい。</p> <p>●「りかのたまたまばこ」「サイエンスワールド」等のコラムが充実している。</p> <p>●「みつけよう」「しらべよう」「伝えよう」と学習内容が色分けしてあり、学習段階が見やすく示されている。</p> <p>●昆虫の学習では、多数の例が紹介されており、比較しやすくなっている。</p>
11	学校図書	<p>◎日常の事物・現象を写真や動画で示し、キャラクターの会話の気付きから問題を見出させるようになっている。育成すべき資質・能力が「理科モンスター」として明記されている。学習内容の定着を図るための振り返りや単元でできるようになったことの例が示されている。</p> <p>○課題解決に必要な力を表すキャラクターがおり、問題にアプローチする方法が示されている。</p> <p>○単元外の内容を取り上げた「もっとしりたい」のコーナーで、現代的な課題に関わる内容及び発展的な内容が扱われている。</p> <p>○写真が明瞭で、特徴を見出したり、比較したりし易くなっている。</p> <p>○考察の視点が書かれている。関連付けられた結論・比較に基づく特徴・既習の内容との比較を用いた記述がされている。それに加え、事象を解釈した記述がされている。</p> <p>●写真が鮮明で分かりやすい。</p>
17	教育出版	<p>◎事象を提示して問題を見出させ、「見方のカギ」「考え方のカギ」を明記して、学習の見通しがもてるようになっている。「学習前」「学習後」の考えの変化に注目させることで学習内容の定着を目指している。</p> <p>○導入部分において、既習事項や上の学年との繋がりを確認したり想起したりしやすいようになっている。</p> <p>○巻頭に「学習の進め方」と「ノートのとおり方」が提示されている。また、「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」と題し、話型が例示されている。</p> <p>○観察ノートや、実験の記録の仕方の例が提示され、どのように整理していくかが分かりやすいようになっている。</p> <p>○考察の視点が書かれているとともに、予想を基に考察をするよう促されている。関連付けられた結論・比較に基づく特徴・既習の内容との比較を用いた記述がされている。</p> <p>●学習前後の自分の考えを比較させるような場面が設定されている。</p> <p>●学習過程の各場面において、対話形式のイラスト、内容が分かりやすい。</p>
61	啓林館	<p>◎準備物の記載があり、実験や観察の方法が番号や点線、写真、図等を用いて説明されている。初めて使う器具については同ページに記載されている。安全に対して配慮が必要なところには、「注意」や「かん気」、「やけど」等のマークがあり、赤文字で示されている。</p> <p>○導入部分において既習事項の図や写真が明記されており、既習事項から新たな課題を見出しやすくなっている。</p> <p>○「くらしとリンク」のコーナーで、現代的な課題に関わる内容及び発展的な内容、</p>

	<p>プログラミング学習の内容が扱われている。</p> <ul style="list-style-type: none">○これまでに学習した大切なことを振り返る「まとめノート」が提示されており、学習内容を振り返ることができるようになっている。○巻末に話合いの留意点が示されている。結果等をどのように表現するのが例示されている。單元ごとに「ふり返ろう まとめノート」があり、自分でまとめる際のヒントとなっている。また、「たしかめよう」では、学んだことを使って説明する学習が設定されている。●実験方法が複数提示されている。●器具の使い方が学習しているページに記載されており、分かりやすい。
--	---

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	生活

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫
 - 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫
 - 自分自身や自分の生活について考えるための工夫
 - 生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 振り返り表現する活動の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列及び分量
- ・内容の表現・表記
 - 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
- ・言語活動の充実
 - コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	◎スタートカリキュラムを意識した単元構成がみられる。 ○表現したりまとめをしたりする際のシートの書き方が示されている。 ○季節の生き物に関する単元の分量が多い。 ○「やくそく」の欄があり、活動を通して身に付ける習慣や技能が示されている。 ○単元末に伝え合う活動が設定され、体験活動と表現、交流する活動が一体的に扱われている。 ●調べたいことや知りたい内容が「○○図鑑」として示されている。		
4	大日本図書	○「がくしゅうどうぐばこ」として、交通ルールやマナー、防災上の注意点が掲載されている。 ◎スタートカリキュラムを意識し、幼稚園や保育園、こども園と生活を比較するページがある。 ○季節を意識させる単元配列と目次の工夫がされている。 ○QRコードが多くあり、活動イメージや約束事を確認することができる。 ○発表方法について多様に紹介されている。 ●気持ちマークを使って各単元の振り返りが簡単にできるようになっている。		
11	学校図書	○上下巻の両方に自分の成長を感じることができるようにする単元がある。 ◎ワークシートを書いた時の気持ちを表現する場面や素材との対話の場面が設定されている。 ○単元の掲載順が、学習する時系列順ではなく単元の内容ごとに構成されている。 ○4人のキャラクターとともに学習が進んでいく。単元ごとにメインキャラクターが設定されていて、気付きや疑問をつぶやいている。 ○様々な発表方法が紹介されている。		

17	教育出版	<p>◎植物の成長などが比較しやすいように、年間の様子が掲載されている。</p> <p>○単元の終わりには、必ず振り返る手段が写真やイラストとともに提示されている。</p> <p>○上巻では就学前、下巻では中学年への接続を考慮した単元配列になっている。</p> <p>○学びを促すための動画が小見出しとともに提示されている。</p> <p>○相手にわかりやすく伝えるための具体的な姿（タブレットを使うなど）が写真やイラストで提示されている。</p> <p>●単元冒頭の「わくわくスイッチ」が学びの視点となっている。</p> <p>●生活科で身に付ける6つの力が活動ごとに示されている。</p> <p>●ページ下の見出しや「はっけんロード」で年間の学習や単元の学習を見通しやすい。</p> <p>●季節の様子を比較するための資料が充実している。</p> <p>●「ぐんぐんはしご」で各単元の振り返りが簡単にできるようになっている。</p>
38	光村図書	<p>○季節ごとに分けて、植物や昆虫、木の実の写真があり、比べることができる。</p> <p>◎写真や小見出しの言葉を効果的に配置し、導入、展開、振り返りまでが児童の思考に沿って示されている。</p> <p>○絵や写真、短い言葉で、架け橋期を支えるスタートカリキュラムや中学年への接続を意識した展開となっている。</p> <p>○マークで動画の種類が見分けられるようになっている。</p> <p>○まとめ方の紹介で、写真のスライドショーが紹介されている。</p> <p>●低学年になじみやすいイラストが提示されている。</p>
61	啓林館	<p>○「できるかな」「できたかな」の記載がある。</p> <p>◎他教科で学んだことを生かしながら、表現活動や振り返りに取り組めるよう設定されている。</p> <p>○5月ごろまでの入門期の単元の分量が多い。</p> <p>○見開き2ページの左上に、単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、表現活動の「ぐんぐん」の3段階のマークで単元の流れが示されている。</p> <p>○多様な表現活動が示され、そこで表現されたことを各単元末に伝え合う場が設けられている。</p> <p>●児童の興味・関心を高めるQRコンテンツが用意されている。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	音楽

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 題材や学習目標等の示し方
 - 歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
 - 器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
 - 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 我が国の音楽に関する内容の扱い
 - 題材や資料等の配列
- ・内容の表現・表記
 - 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
- ・言語活動の充実
 - 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
17	教育出版	○リコーダーの指導事項がスモールステップで示され、階名ごとに写真が挿入されている。 ○和音のひびきの旋律づくりでは、4小節の旋律をつくる際の参考となるよう例が示されている。 ○QRコードを読み取り、鑑賞ができるようになっている。タブレットの見方についての注意が常に示されている。 ○音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」と表し、要素を表すいろいろな言葉も明記されている。 ◎自分の感じ方や考え方を深めていく場面の設定がされている。感じ方の違いを表現できるように、QRコードのリンク先に書き込めるようになっている。 ●演奏している様子が映像として流れるとともに、楽譜がリズム等と対応しているので、鑑賞が苦手な児童にとっても有効である。 ●音楽に関わる言葉が「音楽のもと」として示され、考えを表現する際のヒントとなる。 ●様々な楽器の楽譜が充実している。		

27	教育芸術社	<p>◎学習の流れが「見つける」「考える」「歌う/演奏する」のようにパターン化されていることに加え、それぞれの学習内容が明記されている。</p> <p>○和音つくりのために書き込むスペースを取り、作成できるようになっている。</p> <p>○日本の各地域に伝わる音楽に親しんだり、調べ学習をしたりできるように示されている。</p> <p>○音楽を形づくっている要素が振り返りのページにまとめて示されている。</p> <p>○自分の感じ方や考え方等を深めていく場面が示されている。</p> <p>●ヘッドホンマークがある箇所では、実際に音を聴くことができるため、合奏の際等に便利である。</p>
----	-------	--

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	図画工作

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 題材の目標・振り返りの示し方
 - 〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
 - 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫
 - 身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い
- ・内容の構成・配列・分量
 - 題材や資料等の配列
- ・内容の表現・表記
 - 作品等についての示し方の工夫
- ・言語活動の充実
 - 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
9	開隆堂	<p>○各題材の目標が、資質・能力を表す3種類のキャラクターと文章で示されている。特に重点的に育成したい資質・能力には下線を引き、色を変えて示されている。また、学習のめあて（重点として示されたもの）に対応させ、どのような資質・能力を身に付けたかを問いかけることで、ふり返りの視点を示している。</p> <p>◎各題材名の上または下に、活動のきっかけとなる文が示されている（UDフォントの使用により、支援を要する児童にも読みやすい書体となっている）。また、全ての題材で二次元コードから、導入動画と作品例が視聴できるように示されている。学習の中心的な3つの目標が児童にわかりやすくなるようにキャラクターとともに示されている。そのキャラクターがアドバイスする文も記載されている。</p> <p>○全学年において、題材を「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の5項目に分類して配列している。作品をつかった後に、関連する鑑賞題材が配置されている。また、就学前からの接続や中学校との接続、キャリア教育への対応が示されている。</p> <p>○作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントが吹き出し等で示されたり、作者の考え・感想が示されたりしている。QRコードから、作品の作り方や道具の使い方等、学習内容を様々な映像や写真等で確認できるようになっている。また、発想や構想を広げたり学習を振り返ったりするためのワークシートも用意されている。</p> <p>○コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定されている。適宜話し合いの観点も提示されており、言語活動が充実するための工夫が見られる。また、各題材の左下に、「タブレットたんまつで見てみよう」というコーナーがあり、鑑賞カードや振り返りシートの型が利用できたり、作品を見たりすることができる。それをを用いることで言語活動が充実するように工夫</p>

		<p>されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見出しの記載がかわいらしく、イラストも活用されている。 ●何を学ぶ單元かが分かりやすくもくじに示されている。 ●分かりやすく技法が記載されている。
116	日本文教出版	<p>○全学年の全題材で、ページ番号横に主な材料名や用具名がイラストで示されている。また、表現と一部の鑑賞題材に、「気をつけよう」や「かたづけ」の記載があり、用具の安全な使い方や片付け方が文で示されたり、題材によってはイラストや写真付きで説明されたりしている。</p> <p>○各題材名の下に、活動のきっかけとなる文が示されている（ゴシック体が使用されている）。また、全ての題材で二次元コードから、用具の使い方、作品例、仕組み等が視聴できるようになっている。そして、活動中のつぶやきや豊富な作品例によって発想や構想、工夫を読み取りやすくし、児童の興味・関心を高めようとしている。</p> <p>○全学年において、題材を「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」「鑑賞する活動」の5項目に分類して配列している。鑑賞については、鑑賞のみの題材もあるが、基本的には全ての題材で鑑賞の活動が示されている。また、第1学年のスタートカリキュラム（幼児期の遊びとの接続）を意識した題材や中学校への接続を意識した題材が設定されている。</p> <p>○作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、作者の考え・感想を示したりしている。また、題材ごとのQRコンテンツは、導入と展開、振り返りのそれぞれの場面で使うことができるようになっている。</p> <p>◎コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定されている。また、適宜話し合いの観点も提示されており、言語活動が充実するような構成となっている。各上巻に掲載された特設ページに、作品を見て感じたことや考えたことを友達と話し合う活動を示すことで、言語活動の充実が促されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童の活動に関わる吹き出しの内容が分かりやすい。 ●QRコンテンツの中に多くの作品例や道具の使い方が紹介されている。 ●ほぼ全ての単元で鑑賞のヒントが示され、表現と鑑賞の関連を図った学習活動が展開できるよう工夫されている。 ●児童に考えさせたり、想像を広げさせたりする呼びかけが充実している。

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	家庭

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
題材の目標の示し方
基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫
学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
実生活での活用に関する記述
- ・内容の構成・配列・分量
題材名や資料等の配列
各教科等と関連させて学習を進める工夫
- ・内容の表現・表記
本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
個々の児童の状態等に応じた工夫
- ・言語活動の充実
言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○ミシンの使い方について、「いつもたしかめよう」のページに、順序が示されている。言葉での説明と動画での説明が用意されている。技能の定着を確認するための練習カードがある。上糸のかけ方では、手順ごとにミシンを拡大したイラストと文で示されている。	◎学年で学んだことを生かして実践していくことをねらいとしたページが設けられ、4つの視点を働かせることや実践進め方が示されている。また、「夏休みわくわくチャレンジ」として、学習したことを長期休業中に家庭で実践することを促す場面が設けられている。	○各教科や中学校との学習内容との関連について、統一したマークで示され、教科名、学年、単元概要が記載されている（34個）。 ○野菜の切り方について、写真、図、動画で示されている。実物大の写真がそれぞれの題材のページに示されている。右利き左利きの動画が、別々になっている。 ○主に「活動 話し合おう」「活動 考えよう」「活動 調べよう」「活動 深めよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が設定されている。 ●ミシンの部位が拡大して示されるなど、丁寧にミシンの使い方の説明がされている。 ●ステップごとに振り返りができるようになっている。

9	開隆堂	<p>○全ての題材で、学習の流れ（めあて）が明記され、学習の進め方の文言と合わせて示されている。それぞれの学習段階に合わせて、めあてにチェック箇所がある。</p> <p>○大きな題材をいくつか学んだ後、生活に生かし実践していくことをねらいとするページが設けられ、4つの視点でどのように考えて実践していけばよいか、吹き出しとともに示されたり、課題解決のステップが例示されたりしている。</p> <p>◎第5学年は、スモールステップで反復学習ができるように基礎・基本の定着を図る題材が設定されており、第6学年は第5学年で習得した技能を生かした題材が設定されている。</p> <p>○野菜の切り方について、切り方の説明はそれぞれの題材のページに絵と動画で示されている。巻末で実物大の写真が掲載されている。右利き左利きの動画が、一つにまとめられている。実習の手順が横流れで示されている。</p> <p>○主に「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●同じような内容が見開きにまとめてある。また、制作過程や時間の経過に沿ったイラストや写真の並びが分かりやすい。 ●紙面の下地に色が付いていて見やすくなっている。 ●単元数が多く、関連する内容を繰り返して学習することができる。 ●単元の初めに「なぜ」という投げかけがあり、問題解決的な学習をしやすい構成となっている。 ●「持続可能な社会」の視点についての記載が充実している。
---	-----	--

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	保健

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 単元の目標の示し方
 - 体育・健康に関する内容の記述
 - 実習に関する記述
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
 - 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列
 - 発展的な学習に関する内容の記述
- ・内容の表現・表記
 - 本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用
- ・言語活動の充実
 - 身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>◎「けがの手当」の単元では、実習の例が文章と絵で示されている。また、手当ての方法を理由とともに記入させることができるようになっている。実験では、写真を用いて行い方が説明されている。また、QRコードから実習の内容を確認することができる。</p> <p>○学習の進め方や課題解決の過程が各単元の先頭ページ右上に示され、右下にはキーワードを書き込みながら児童が主体的に振り返ることができるような構成となっている。</p> <p>○単元の終わりに「資料」として学習を広げたり深めたりする内容が、単元の一部の終わりに「発展」として発展的な内容が掲載されている。また、QRコードから資料を確認することができるようになっている。</p> <p>○ジェンダーに配慮したキャラクターが取り入れられている。要所でQRコードを掲載し、動画やスライドを見て理解を深めたり、ワークシートや思考ツールを活用したりすることができるようになっている。</p> <p>○自分の考えを書いたり、話し合ったりする「深める・伝える」場面と、授業で分かったこと等を記述する場面が設定されている。</p> <p>●各単元の導入に、児童にとって身近な内容が扱われており、自分ごととして考えやすい提示となっている。</p> <p>●学習の進め方として4段階でステップが示されており、学習の流れが分かりやすい。</p> <p>●単元末には、次の時間に学習する課題に対する投げかけがある。</p>

4	大日本図書	<p>○「ここで学ぶこと」を初めの方に示し、「調べよう」に進んでいく構成になっている。体験から気付いたことを課題につなげる工夫がされている。</p> <p>○学習の進め方や課題解決の過程は、各ページの左端に赤字で示されている。「活かそう」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。</p> <p>○単元の終わりに「もっと知りたい」として発展的な内容が、単元の一部に「発展」として発展的な内容が掲載されている。ワークシート形式で記入欄が設けられている。QRコードからウェブサイトで資料を確認することができる。</p> <p>◎先生、ナビゲーター、児童のキャラクターが取り入れられている。各単元の冒頭にQRコードが配置され、関連する動画等をまとめて見るできるようになっているとともに、児童の興味を引くようなQRコード資料も用意されている。</p> <p>○学んだことと身の回りのことを関連付け、よりよく生活する方法を考えて記述する「活かそう」という場面が設定されている。また、行動面で気を付けることを記述する欄と環境面で気を付けることを記述する欄が設けられている。</p>
50	大修館	<p>○食育に関する情報について、イラストと簡単な文章で記載し、バランスのよい食事について考える活動が設定されている。運動の効果について、イラストや文章で説明し、運動や遊びの活動例が多く記載されている。</p> <p>○「心の発達」の単元では、導入で、イラストを基に1年生のころと5年生のころの様子を比べる活動が設定されている。</p> <p>◎単元と学びを広げたり、深めたりする資料の場所が分かりやすく示されている。単元の初めに著名人のインタビューを掲載し、興味・関心を高める工夫がされている。それぞれの単元で「課題をつかもう」「話し合おう」「調べよう」「考えよう」の順番に提示され、必要な資料が記載されている。</p> <p>○健康に関する様々な職業に就く人々をキャラクターとして取り入れている。また、各単元末にQRコードを掲載し、クイズや様々なコンテンツを見ることができるようになっている。</p> <p>○授業によって異なる内容の「まとめ(生かそう・伝えよう)」という自分の考えを記述する場面が設定されている。授業のまとめでは、気を付けたい場所を記述する欄と、これから気を付けることを記述する欄が設けられている。</p>
207	文教社	<p>○育ちざかりに必要な栄養の情報は、イラスト、文章による説明となっている。比較的情報量が多い。適度な運動と生活の中で続けられる運動の紹介と、体へのよい影響について記載されている。</p> <p>○「心の発達」の単元では、導入で数枚のイラストを基に、成長の仕方が示されている。「Mission もう一歩先の自分へ」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。</p> <p>◎単元の初めに単元全体の学習課題が示されている。各単元の終わりに、単元の振り返りとして“わたしの〇〇宣言”が設定されている。小單元ごとに3つのMissionがある。Mission 1、2の中に2つのStageがあり、それぞれに応じた資料が記載されている。</p> <p>○児童や先生、仙人など多くのキャラクターが取り入れられている。もっと知りたい情報のリンク先や著名人からのメッセージがQRコードで示されている。</p> <p>○今後どのようにしていきたいかを考えて記述する「もう一歩先の自分へ」という場面が設定されている。授業のまとめの場面では、これから気を付けていきたいことを記述する欄があり、どちらにも記述例が示されている。</p>
208	光文書院	<p>◎4コマまんがを通して、課題を把握できるようになっている。資料を活用して振り返る活動が取り入れられており、自然な流れで課題設定ができるようになっている。</p> <p>○学習の進め方や課題解決の過程は、各学習場面の先頭に目立つように示されてい</p>

		<p>る。振り返りは、児童が今後の自分の生き方を短い文章でまとめるとともに、その理由も記述するような構成となっている。</p> <p>○単元の終わりに「さらに広げよう深めよう」として発展的な内容が、単元の一部に「発展」として発展的内容が掲載されている。QRコードから資料を確認することができる。</p> <p>○児童2人、先生2人と4人のキャラクターを取り入れ、学習に役立つウェブサイトにつなぐためのQRコードが毎単元の冒頭と所々のまとめに配置されている。</p> <p>○学んだ内容と身の回りのことを関連付けて自分の意見を書く「学んだことを生かそう」という場面が設定され、行動面と環境面について記述してまとめる欄が設けられている。</p> <p>●導入に4コマまんがを取り入れることで、児童の興味・関心を高めようとしている。</p>
224	学研	<p>○文章を書き込ませる部分が多い。実習の例が文章や絵で示され、チェック欄も設けられている。実習後の気付きや振り返りを記入させる形となっている。QRコードから実習の動画を確認することができる。「科学の目」で、写真やイラストを使って実験が説明されている。</p> <p>○学習の進め方や課題解決の過程は、先頭ページの左上に時計のような形で示されている。児童が今後実行したいことと学習の進め方に対する振り返りを、文章で記述するような構成となっている。</p> <p>◎もくじが詳しく書かれている。単元の初めに、その単元で何を考えたり、話し合ったりしたらよいかを示されている。学習課題を意識させるような吹き出しが掲載されている。小単元の初めに「予想しよう」でイラストを提示し、「1資料を読み取る」「2原因を話し合う」「3学びを生かす」の3段階でも、それぞれに応じた資料が記載されている。</p> <p>○児童、担任、養護教諭のキャラクターが取り入れられている。毎単元の終末部にシートが読み込めるQRコードが配置され、所々に様々なコンテンツを見ることができるQRコードも用意されている。</p> <p>○学習の流れの中に、○○について話し合う場面が設定されている。授業のまとめの場面では、もっと学習したいことを記述する欄が設けられている。</p> <p>●吹き出しが子供の視点で書かれていて分かりやすい。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	英語

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
 - 単元の目標の示し方
 - 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 単元等における振り返りの工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元の構成・配列の工夫
 - 単元における言語活動の構成・配列
- ・内容の表現・表記
 - 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用
 - 巻末資料、付録等の工夫
- ・言語活動の充実
 - 児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫
 - 知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>○習得させたい表現につながるテーマの small talk が設定されている。音声による表現の習得から、文字による表現の習得につながる構成になっている。</p> <p>◎小単元ごとに振り返りができるようになっており、学期ごとに学習したことを振り返る「Check Your Steps」が設定されている。できるようになったことをチェックできるよう、「My Picture Dictionary」に「CAN-DO の樹」が掲載されている。</p> <p>○各活動が5領域のどれにあたるかがマークで示されている。どの単元でも見る・聞く→話す→読む・書くといった配列になっている。</p> <p>○2年間で使う表現は「My Picture Dictionary」に別冊でまとめられている。巻末には学習で使うカードが付いている。</p> <p>○単元末の「Enjoy Communication」では、単元で習得したことを活用する場面が設定され、学期ごとの「Check Your Steps」では、これまでに学習したことを活用する活動が設定されている。</p> <p>●小単元と大単元ごとに振り返りが充実している。</p> <p>●大単元末に、学んだことを使って伝え合う言語活動とコミュニケーションの場面が設定されており、巻末のコミュニケーションカードも活用できる。</p> <p>●異文化理解につながるような学習活動が充実している。</p> <p>●動画やクイズなどのQRコンテンツのバリエーションが多い。</p>
9	開隆堂	<p>○単元の初めに単元の目標が提示されており、学習を進めるにあたり、小目標も記載されている。巻末に can do list があり、観点別で振り返りができるように設定されている。</p> <p>○教科書の最終ページに「CAN-DO チェック」として、3段階での自己評価と記述</p>

		<p>によって振り返る欄が設けられている。振り返る視点が領域ごとに「わかる」と「使える」に分けられている。1ページに1学期分（2つ～3つ）の単元の振り返り表が掲載されている。大単元ごとに「Let's Check」としてこれまでの学習を振り返る問題と、「Interview」として先生と会話をして学習内容を確認する場が設定されている。</p> <p>○聞く活動から話す活動への流れで言語活動が構成・配置されている。また、音声で十分に慣れ親しんだ英語表現と文字とを結び付けるために、単元の後半に読む活動・書く活動が設定されている。</p> <p>○第5・6学年で使う表現がそれぞれ別冊「word book」にまとめられている。「word book」は、習得した表現を記入できる欄が設けられている。巻末に学習に使うカードが付けられている。</p> <p>◎Activity2 のペアやグループでのやりとりの場面では、よい聞き手を育てるために、学習内容に合わせ、相手の話を聞いて「褒める」「質問する」「励ます」ための表現例を紹介するコーナーが設定されている。</p> <p>●QRコンテンツが学習の流れに沿って整理されており、利用しやすい。</p>
15	三省堂	<p>○単元ごとにHOP→STEP→JUMPという流れになっており、単元のゴールに向けてスモールステップの学習活動になっている。</p> <p>○単元末に「ふりかえり」として3段階で自己評価する欄があり、できたことや工夫したこと、友達のよさを記述できるようになっている。</p> <p>○各活動が4技能5領域のいずれに当たるかが明記されている。語句や表現をインプットしてから、聞く・話す活動中心の言語活動が設定されている。</p> <p>○巻末に学習に使うカードが付いている。小カードはレッスンのどの活動で使用するのかがわかりにくい。</p> <p>◎3つのUnitのゴールとしてJumpが設定されている。また、Jump Plus が発展活動として示されている。</p> <p>●導入で身近な暮らしに関わる場面設定がされている。</p>
17	教育出版	<p>○各単元の冒頭に、簡単な言葉で目標が提示されている。</p> <p>○単元の導入において、会話場面や状況が示されている。また、単元の初めにゴールが示され、「think」として、単元のゴールに話したいことを記述する欄が設けられている。</p> <p>○単元導入部分では、映像を見たり歌を歌ったりする活動が設定されている。</p> <p>◎5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示している。音声や動画等が視聴できるQRコードを、活動ごとに数か所示している。</p> <p>○話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すコーナーや、ペアやグループでの活動が多く設けられている。</p> <p>●イラストや写真を効果的に配列し、学習内容の理解を促している。</p>
38	光村図書	<p>○単元末に目指す児童の姿が明確に記載されている。</p> <p>○単元の導入において、会話場面や状況を明確に示している。聞き取る観点も示されている。</p> <p>○少しずつ詳しく伝えられるように段階的に言語活動を導入し、最終的に児童が伝えたい事柄をスピーチできるように設定されている。スピーチを聞いている人が質問をする言語活動も設定されている。</p> <p>○単語はジャンルごとに色分けされている。第6学年のPicture Dictionaryには、第5学年で記載のあった単語は記載されていないが、2次元コードから確かめられるようになっている。第5学年も、第6学年のものを調べることができる。第3・4学年で学習した単語には足跡マークが記載されている。</p>

		<p>◎児童が「伝えたい!」と思えるように、コミュニケーションの目的や場面、状況が明確に示されている。また、誰が何のために伝えるのかという視点も示されており、自分の考えや気持ちを表現する活動がUnitの中心に設定されている。</p> <p>●学習内容がはっきりと記載されており、児童にも教師にも活動が分かりやすい。</p>
61	啓林館	<p>○単元の初めに目標が提示されている。step1 step2 step3 と3段階の小目標が提示されている。</p> <p>◎単元末にlook backとして、できるようになったことにチェックをしたり、実際に使える場面を考えたりする欄が設けられている。大単元のごとにREVIEWとして、これまでの学習を活かした言語活動と振り返る場が設定されている。</p> <p>○各活動が4技能5領域のいずれに当たるかが明記されている。聞く活動が多く配置されている。</p> <p>○巻末のWord Listに、イラスト付きで単語がまとめられている。主に関連する単元も記載されている。</p> <p>○Activityでは、いっしょに調べたり、話し合ったりできる話題を取り上げ、ペアやグループの活動場面が多く設定されている。第6学年:Unit2「Welcome to Japan.」の単元では、季節ごとに外国の人が日本で楽しめるものを、グループで話し合っ、アイデアを発表する活動が設定されている。</p> <p>●振り返りをしっかり書き込むようになっている。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	小学校
種目	道徳

教科書選定の観点

- ・基礎基本の定着
道徳科の学び方等の示し方
発問の示し方
- ・主体的に学習に取り組む工夫
問題解決的な学習を取り入れた工夫
体験的な学習を取り入れた工夫
- ・内容の構成・配列・分量
分量や教材の数
現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
- ・内容の表現・表記
巻頭、巻末等の取扱いの工夫
教材の内容を理解させる工夫
- ・言語活動の充実
考えを伝え合う活動の工夫
考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○イラストで授業の流れを示し、児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現できるようにしている。 ○全ての学年で、「問題を見つけて考えよう」のページが設けられ、学習過程の例が示されている。 ○各学年でとびらページ・教材2つ・コラムで構成された「いじめユニット」が設けられている。また、各学年で情報モラルに関する教材も設けられている。SDGsに関する教材を高学年で取り扱っている。	◎QRコードは全教材文に用意されている。教材文の後にもQRコードが付いている教材がある。どの教材文にも3枚以上のイラストや写真が載せられている。自然に関する教材には写真が使われている。	○巻末に、学期末に心に残った題名と内容を記述する欄や道徳で学んだことを振り返って記入する欄が設けられている。 ●QRコードを読み取ると、教科書と同じ内容を画面共有することができる。
17	教育出版	○冒頭で主題に関わる投げかけを行い、教材文の終わりに「考えよう」「深めよう」「つなげよう」に分けて発問が記載されている。	◎全ての学年で、「やってみよう」のコーナーが設けられ、教材に関連した体験的な学習を通して考えることができるようになっている。	○全学年で「いじめ」「情報モラル」を重点テーマとして、ユニットが設定されている。また、SDGsに関する教材も用意されている。 ○目次にユニットが設定され、関連する教材文を並べ2時間続きで1つの内容項目について学習するようになっている。ユニット数が多い。巻末に「内容項目」「主題名」「教材名」「他教科との関連」「SDGsとの関連」が記載されている。

		○教材の終わりにマークや記述で学習を振り返る欄が設けられ、巻末に、心に残った教材の記述や1年間の学習を振り返るページが設けられている。
38	光村図書	○冒頭の教材名の下での発問で、主題に関わる投げかけを行い、教材文の終わりに「考えよう・話し合おう」「つなげよう」「考えるヒント」に分けて発問が記載されている。 ◎特に第5・6学年で、「考えよう・話し合おう」「つなげよう」のコーナー等が設けられるとともに、学習過程の例が示されている。 ○2つの教材とコラムでユニット化した「いじめをゆるさない心」が設定され、関連してソーシャルスキルトレーニングのページが設けられている。情報モラルは、教材とコラムをセットで学べる「情報と向き合う」が設けられている。SDGsに関する教材は、6年間で17の目標全てに触れられるよう設定されている。 ○目次に4つのユニットを設定し、学習のまとまりを示し続け、同じ内容項目について学習できるようになっている。巻末に「内容項目」「主題」「教材名」「他教科との関連」「現代的な諸課題との関わり」が記載されている。 ○学習のまとまりごとに、自分の考えをまとめる欄があり、巻末折込みに、学習を振り返って自己評価をシールで貼ったり学習記録を記入したりする欄が設けられている。 ●発問数が多く、考え方も示されている。 ●児童の内面に迫ることができる発問が示されている。
116	日本文教出版	○児童みんなが授業に参加でき、一人一人のよさが引き出され、豊かな学び合いが実現できるよう、学び方がわかりやすく示されている。 ○全ての学年で、「ぐっと深める」のページが設けられ、問題解決的な学習の手法が具体的に示されている。 ○いじめを直接的、間接的に扱った教材とコラムを組み合わせた「人としての関わりユニット」が設定されている。また、コラム「心のベンチ」が設定され、情報モラルやSDGsについて学ぶことができるようになっている。 ○QRコードはどの教材文にも用意されている。柔らかいタッチの絵が使われている。写真の使用場面が多い。 ◎学習のまとまりごとに、自分の考えをまとめる欄があり、巻末の「見つけた！ここにもどうとく」として、1年間の学習を振り返るページが設けられている。 ●別冊に発問の記載がなくなっており、発問が限定されていないため使いやすい。 ●大きくりのまとまりで振り返ることができるようになっている。 ●評価をするためにノートが役立つ。 ●心の動きを考えるデジタルツールとして、心情メーターやシンキングツール等が充実している。
208	光文書院	○児童が見通しをもって学び、問いを見付け、考えを深め、授業後へと広げていくという一連の流れが示されている。 ○全ての学年で、「みんなでやってみよう！」のページが設けられ、実際の問題場面を想定した体験的な学習を通して考えることができるようになっている。 ◎「いじめを生まない心」を重点主題とし、とびらページと教材が掲載されている。全学年に情報モラルのコラムが設けられている。ジェンダーについての教材も掲載されている。 ○内容に合わせて、柔らかいタッチ、明るい配色等の絵が使われている。比較的多くの写真が使われている。 ○巻頭に、ノートのまとめ方や振り返りの書き方が示され、巻末折込みに、「まなびの足あと」として、授業を振り返るページが設けられている。 ●「いじめ」について重点的に扱っている。

224	学研	<p>○児童の発達段階に合わせた書き方で道徳の学習の進め方が示されている。</p> <p>○全ての学年で、「深めよう」のページが設けられ、学習過程の例が示されている。</p> <p>◎「いのち」を最重要テーマとして、内容項目「生命の尊さ」の教材を全学年で3つ掲載している。</p> <p>○目次にユニットが作ってある。ユニット数が少ない。巻末に「内容項目」「教材」「主題名」「デジタルコンテンツ」が記載されている。</p> <p>○巻頭の「どうとくの学習ははじまるよ」の中に、考えを進める方法が示され、教材の終わりの「考えよう」の中に、対話するための問いの例示がされている。</p>
-----	----	---